

大雪は忘れた頃にやってくる

～ひとすじ縄でいかない三重の雪予報～

2023年 2月18日(土) 13:30～17:00 (開場13:00)

三重大学 三翠ホール

参加費無料

定員 200名 (先着順)

1. お天気コーナーの裏側 (気象キャスター)
2. 雪の過去・いま・未来 (研究者)
3. 研究者×気象キャスター 本音トーク

申込みはこちらから



申込締切: 2月15日(水)

<https://forms.gle/xmFb7LGBHpS6J6U7A>



立花義裕
(三重大学教授)



西井和晃
(三重大学准教授)



川瀬宏明
(気象庁気象研究所主任研究官)



吉田ショージ
(東海テレビ)



寺尾直樹
(NHK名古屋)



桜沢信司
(CBCテレビ)



山田修作
(メ〜テレ)



多森成子
(三重テレビ)

共催: 三重大学生物資源学部、気象庁気象研究所、津地方气象台

三重県・三重大学 みえ防災・減災センター、三重大学北勢サテライト蜚気楼研究会

本シンポジウムはJSPS科研費(19H01377)の助成を受けています



大雪は忘れた頃にやってくる

～ひとすじ縄でいかない三重の雪予報～



降るとさまざまな影響をもたらす雪。東海地方の平野部では、うっすらと積もるだけでも交通に大きな影響が出ることもあり、雪の予報は防災上、とても重要です。平野部で大雪となることは稀ですが、三重県北部のいなべ市など、数十センチの積雪が珍しくない地域もあり、雪の予報は簡単ではありません。そのため、雪はいつも気象キャスターの頭を悩ませます。本シンポジウムでは、テレビでお馴染みの気象キャスターが冬の天気コーナーの裏側をお話し、気象研究者が大雪の現状や要因、そして、温暖化によって雪はどのように変わっていくのかお話しします。

講演内容(3部構成)

1. お天気コーナーの裏側(気象キャスター)

雪はいつ、どこで降るのか？ 同じ天気予報でも、よく聞くと各局で微妙に違う気象解説。その理由とは？ テレビでは話せない冬の天気コーナーの裏側をはじめ、真冬の極寒取材の苦悩など、5人の気象キャスターがお伝えします。

2. 雪の過去・いま・未来(研究者)

これまで東海地方でどんな大雪が降ったのか？ 大雪をもたらすJPCZって何？ 温暖化が進むと雪はどうなるの？ など、3人の研究者が最新の研究を交えて分かりやすく紹介します。

3. 研究者×気象キャスター 本音トーク

研究者と気象キャスターが互いに質問をぶつけ合い、本音トークを繰り広げます。皆さんからの質問も研究者やキャスターが直接お応えします。会場の皆さんも一緒にお楽しみください。

2023年 **2月18日(土)**

13:30～17:00 (開場13:00)

三重大学 三翠ホール



<https://forms.gle/xmFb7LGBHpS6J6U7A>

申込みは
こちらから



◆江戸橋駅から徒歩約15分
◆津駅からバスで「大学病院前」下車

問い合わせ先 三重大学生物資源学研究所
TEL 059-231-9573 担当:西井

申込締切: 2月15日(水)

自家用車でお越しの方は、
申し込みページの説明をご覧ください。

当シンポジウムは、適切な感染防止対策を行ったうえで開催します。

・マスクの着用や咳エチケット、手洗いの徹底などにご協力ください。・体調不良の方の参加はご遠慮ください。